

# 令和6年度 社会福祉法人 雄勝なごみ会 業務報告会

令和7年 2月28日(金) 開催



本会は、法人内各分野にて、現場で効果的だった取り組みの紹介や、直面する課題を伝え合うことで、新しいアイデアの創出や介護の質を向上させるためのアプローチの発見をねらいとしています。

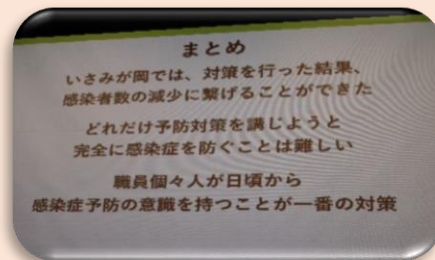
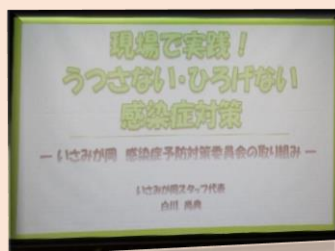
成功事例を共有することで、日々の業務に対するスキルアップ、モチベーションアップへと繋がることや、他拠点間の交流を通じて、情報の共有や協力関係が構築されることで、チームワークの強化、さらには地域全体の介護サービスが向上することを期待し本会を開催しました。各拠点の発表内容をご紹介します。



いさみが岡

## 現場で実践！ うつさない・ひろげない感染症対策

新型コロナウイルスの発生以降、高齢者施設における感染症予防対策は以前にも増して難しいものとなりました。いさみが岡では感染症予防対策委員会主導で、①現場目線での実践的なコロナ対応マニュアルの作成、②定期的なガウンテクニックチェックの2つの取り組みに力を入れた結果、施設内での感染拡大予防に大きな効果を得る事ができました。ご利用者様の健康を守るため、今後も職員間での感染症予防についての知識、意識の浸透に力を入れていきたいと考えています。



サン・グリーン  
ゆざわ拠点

## 栄養ケア・マネジメント、口腔衛生管理の取り組み

～美味しく食べるためには、お口の中から～

ご利用者さんの生活の中で楽しみのひとつでもある食事。食事を美味しく食べるためには、お口の中が健康でないといけません。今年度は、新しく食事口腔ケア委員会を立ちあげて、多職種協働で取り組みました。

食事については、管理栄養士と連携し、入居されている皆さんの状態に合わせて計画書を作成し、おいしく安全に食べていただけるように取り組みました。

口腔ケアについては、歯科衛生士から歯磨きのポイントの助言や指導を受け、今では毎食後の口腔ケアが習慣となっています。職員が今まで気づけなかった口腔内の変化に気づけるようになり、義歯等の不具合があった際には協力歯科医と連携をとり往診していただくことで、お口の中の健康維持につながっています。これからも、口腔内の清潔を保ち、食べる楽しみからご利用者さんの素敵な笑顔を引き出せるように取り組んでいきたいと思ひます。

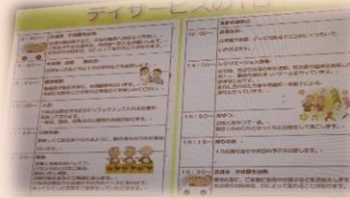
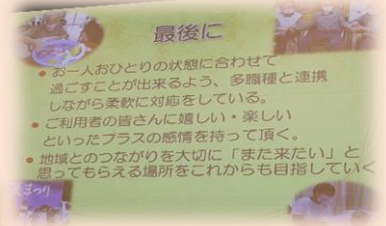




平成園拠点

### 「また来たい」と思ってもらえる場所を目指して ～デイサービスでつながる交流の輪～

介護予防対象の方から要介護5の方まで様々な支援を必要とする方に利用して頂いており、お一人おひとりの状態に合わせて柔軟に対応しています。行事やレクリエーション活動、地域の方との交流を通し、皆さんに嬉しい・楽しいといったプラスの感情を持って頂けるような取り組みを行っています。今後ご利用者はもちろん、地域の方や子供たちに「また来たい」と思ってもらえる場所となるよう交流の輪を大切にしていきたいと思えます。

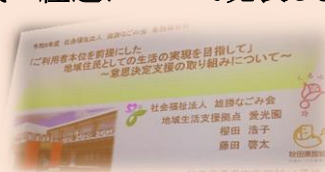


愛光園拠点

### 「ご利用者本位を前提にした地域住民としての生活の実現を目指して」

#### ～意思決定支援の取り組みについて～

令和3年度に当法人の「障がい福祉サービス一元化計画」のもと、「ご利用者の地域住民としての普通の暮らしの実現」を目指しました。41年間住み慣れた旧愛光園から湯沢市中心市街地への移転準備が始まり、令和5年6月に地域生活支援拠点愛光園での新たな生活がスタートし、1年が経過しています。これまでの実践を振り返り見えてきた課題と、地域生活支援拠点として「地域」と双方向から響き合う関係づくり、施設完結の生活から、ひとりの地域住民としての暮らしの実現を目指した取り組みの実践の経過について発表しました。



幸寿苑拠点

### 「実践！やわらか食」形のあるものが食べられるって幸せよね・・・

あなたが普通の食事を噛みづらいと感じた次の瞬間、食事が細かく刻まれて出てきたらどう思うでしょう。「細かくしてくれてありがとう」と喜んで召し上がるか。「噛めなくなったからか・・・」とがっかりするかどちらでしょうね。本当は食材を細かく刻んだものより、大きく形があり、柔らかい方が人は良く噛んで食べるため、安全に食べられるようです。というお話を紹介させていただきました。興味のある方は幸寿苑で一緒に実践してみませんか。

